

驚田清一
とともに
考える
パート②

ドットクの じかん

バリアフリー対応

- 手話通訳
- 要約筆記付

こんかいのとくもく

5

じかんめ

「尊敬」

「ドットクのじかん」とは

せんだいメディアテーク館長の驚田清一が、各分野のプロフェッショナルからお話をうかがいながら、あらためて「徳目」*のほんとうの意味について、来場者とともにひも解いていきます。今回の徳目は「尊敬」。SNSの普及によって他人からの評価に晒され、新たな症候のうつ病に苦しむ人が増えているようです。そんな中、近年注目されている「オープンダイアログ」という精神のケアの手法があります。これは、複数の参加者がお互いへの思いやりに根差した対話を繰り返していくことで、傷ついた心の回復を図るものです。今回は、精神科医で「ひきこもり」の治療や支援が専門の齋藤環さんをお招きし、他者への尊敬に基づいたコミュニケーションについて、みなさんとともに対話を重ねます。

*徳目(とくもく)… 道徳の細目。忠・孝・仁・義など、徳を分類した名目のこと。

にちじ・かいじょう

2023.12.23(土)
14:00-16:00

せんだいメディアテーク
1階 オープンスクエア

申込不要 / 参加無料 / 先着150席

ゲスト

さいとう たまき
齋藤環

精神科医
筑波大学教授

ホスト

わしだ きよ かず
驚田清一

哲学者
せんだいメディアテーク館長

お問い合わせ

せんだいメディアテーク
企画・活動支援室
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
[Tel] 022-713-4483
[Fax] 022-713-4482
[Mail] office@smt.city.sendai.jp
[Web] www.smt.jp
助成：一般財団法人 地域創造

プロフィール

齋藤環(さいとうたまき)

1961年生まれ。岩手県出身。筑波大学医学研究科博士課程修了。医学博士。爽風会佐々木病院・診療部長を経て筑波大学社会精神保険学教授。専門は思春期・青年期の精神病理学・病跡学、「ひきこもり」事例の治療・支援ならびに啓蒙。漫画・映画・サブカルチャー全般に通じ、新書から本格的な文芸・美術批評まで幅広く執筆。著書に『社会的ひきこもり』(PHP新書)、『母は娘の人生を支配する』(NHKブックス)、『承認をめぐる病』(日本評論社)、『世界が土曜の夜の夢なら』(角川文庫、角川財団学芸賞)、『社会的うつ病』の治し方』(新潮選書)、『自傷的自己愛の精神分析』(角川新書)ほか、著訳書に『オープンダイアログとは何か』(医学書院)など多数。

驚田清一(わしだきよかず)

1949年生まれ。京都大学文学部卒業、同大学院修了。大阪大学教授・総長、京都市立芸術大学理事長・学長などを歴任。これまで哲学の視点から、身体、他者、言葉、教育、アート、ケアなどを論じるとともに、さまざまな社会・文化批評をおこなってきた。著書に『モードの迷宮』(ちくま学芸文庫、サントリー学芸賞)、『「聴く」ことの本質』(ちくま学芸文庫、桑原武夫学芸賞)、『「くずくず」の理由』(角川選書、読売文学賞)、『しんがりの思想』(角川新書)、『つかふ、使用論ノート』(小学館)など多数。現在『折々のことば』(朝日新聞)連載中。